

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度第9回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）協議（公開）

新たな自主的審議事項について

4区地域協議会委員合同研修について

### （2）その他

令和4年度上越市新年祝賀会の開催について

農産物販売強化研修会の開催について

上越市学校教育支援センターからの新聞配布について

## 3 開催日時

令和3年11月24日（水）午後6時30分から午後7時30分まで

## 4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

個人に対する事項を審議するため

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：荒川清尊、岡田龍一、高橋達也、竹内昭彦、竹内靖彦、松原 功  
宮川昇藏、村越勝彦、陸川昇一

・事務局：名倉浩中郷区総合事務所長、内藤香織次長（総務・地域振興グループ長  
兼務）、宮尾広幸市民生活・福祉グループ長、教育・文化グループ長  
総務・地域振興グループ・内田明浩班長、田村結花主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは  
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

## 8 発言の内容（要旨）

【内田班長】

・会議の開会を宣言

【竹内（靖）会長】

挨拶

【内田班長】

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

会議録確認：「岡田龍一」委員と「村越勝彦」委員に依頼。

協議事項(1)の「新たな自主的審議事項」について事務局の説明を求める。

【内田班長】

資料No.1に基づいて説明。

【竹内（靖）会長】

先回の地域協議会の意見により事務局案を提案・説明をしていただいた。担い手対策、空き家対策、公共交通対策の3点の提案であった。また、疎開保険という珍しい事例も紹介していただき、今後の参考としたい。それでは、先週の地域協議会で委員の皆さんに1人1つの提案をとということでお願いしてあったので、発表をお願いしたい。

【陸川（昇）委員】

農業の担い手をどうにかすることで、少子高齢化を少しでも抑えていくようなことができないかと思っている。藤沢、岡沢は法人化し、田畑を維持していく形をとっている。しかし、収益が上がらないため若い人たちが担ってくれないというところが問題となっているのではないか。そんなところを少し詰めてもらい、若い人が農業で生活していけるような、形がとれば一番良いのではないかと思っている。事務所案にある空き家対策なども大事と思うが、地域の若手が地元に残ってもらえるようにすることで、空き家なども解消されると思うので、担い手をいかに作っていくか、若い人をいかに残していくかということ提案する。

【村越委員】

私が地域の皆さんから聞き取った中では、素晴らしい地域なのに人口が減って無くなってしまうと懸念されるので、この素晴らしいふるさとを無くしたくないということから移住対策が必要かと思う。この土地に住んでもらえるように何かするべきとい

う意見を聴いたので、この空き家対策の中でも移住しやすいような情報発信や空き家の整備などが大事なのかと感じた。

#### 【宮川委員】

今、一番感じているのは、人口問題である。小中学校も20名いるかいないかという状況になっている。本日、市長と話す機会があつて話をさせてもらったが、中郷に限らず市全体がデータでは4時間に1人減っていることになるそうである。2025年問題もあり、あと10年すると人口が3分の2くらいになるということであった。私としては、やはり中郷区の人口を減らしたくないというのが1つである。市長にお願いしたのは、現在の中郷区の小中学校の人数が1クラス20名程度であるが、国や県の方針は35名から40名が基準となっていて、基準に満たないところは合併ということになるが、地元の子供達を地元が育てるという方向でいきたいので小中学校の存続についてお願いした。そういう点で考えていかなければならない。

#### 【松原委員】

公共交通対策について考える必要がある。ある程度人口があるところはバスを走らせているが、中郷区では人口が減って赤字になるということで乗合タクシーとなっている。ただ、乗合タクシーも赤字で市から補助が出ている状況である。2~3人のお年寄りから、通院のため乗合タクシーに乗りたいが予約をする必要があり非常に困っているとの意見をいただいている。電話をするだけだが、お年寄りにとっては非常に億劫であったり、電話をすることを忘れてしまうとの話もある。そんなことから定期的な運行を再検討することにより、住みやすい地域となり得るので、公共交通対策について検討する必要があると思う。

#### 【高橋（達）委員】

私も宮川委員と同じような考え方を持っている。移住者の確保もいいが、どうやって若い人たちを呼び込むのかが問題となる。ただ、若い世代を取り込んで担い手とさせることもできるが、地盤となるところには若い世代が残っていないと今後のまちづくり、地域づくり自体が難しくなってくると思う。若い人たちは進学や就職を機に中郷区を離れてしまう。いかに彼らを取り戻せるのか、子育て世代の若い人たちをどう呼び込んでいくのかなども考えていく必要があると思う。また、空き家対策にも繋がってくるだろうと思う。企業との協力により集合住宅を建てて若い世代を呼び込むことも必要なのかと思う。

公共交通については、利用者が年々減ってくると思っている。乗合タクシーは、必要な時に電話して利用するということだが、その辺が使いにくいということであれば、コミュニティバス制度なども検討するべきかと思っている。

**【岡田委員】**

高橋（達）委員の意見に賛同する。私も担い手対策が一番大事だと思っている。事務局案として出されている3件については、どれも非常に大事なことで、「空き家対策」「公共交通対策」となると、担い手がある程度いないと対応できないと思っている。各種対策を実施するとなると若い世代が必要であり、移住者に頼る方法もあると思うが、現在、中郷区に在住している若い世代、子育て世代の20代30代の人たちをどうやってこういう場に出てきてもらうかも考えていかないと、これから10年後くらいに困ってくるのではないかと思うので、一番としては、担い手対策をしっかり行うべきと思っている。

**【荒川委員】**

小中学生がノルディックスキーや駅伝でいい成績を収めている。それは個人の實力はあるのかもしれないが、周りのサポートがいいのだと思う。そのようなサポートを人口流出の抑制に向けられるような、子どもたちが中郷に住みたいと思ってもらえるようなそんな対策ができればいいと思っている。

**【竹内（昭）委員】**

視察研修で通学路の危険箇所について視察をしたので、まず一番身近なところで、出来るところから行った方がいいと思っている。通学路を見ていくと、危険な空き家の発見にも繋がっていくので、通学路の危険箇所について検討していくのがいいと思っている。

**【竹内（靖）会長】**

本日は欠席している委員もいるが、出席された皆さんの意見をお聞きした。その中で、担い手不足がいろいろなところに繋がっているという意見であったと思う。最後の竹内（昭）委員の通学路についての意見も本を正せば担い手というか人口減少に関係しているので大きな枠の中で実施していけるのではないかと思っている。本日、皆さんの意見を聞いてすぐに候補を決めることはできないので、来月の地域協議会である程度の方向性を出したいと考えている。本日出た意見について事務局と相談しながらまとめさせていただく。ここからはフリーなディスカッションとして、担い手不足

に関して、農業だったり、子育てだったり、学校関係の件だったり、それを自主的審議事項として我々が机上に上げた時に、どのように話をして、最終的にどのようなところを目指すというところについて意見をいただきたい。これは、これから時間をかけて話し合いをしていく中で、目指すところ、ある程度のビジョンというか、雲を掴むような話となっても困るので地域協議会としてどうしていくのか、そんなところについて意見のある方がいればお願いしたい。

**【陸川（昇）委員】**

なかなか打開策というのは難しいが、藤沢の農業関係で言えば、法人になって2年経ち、今年度については取り高が少なかったこともあり赤字のようだが、40代から70代の人たちがうまく働いて法人の中では順調な状況である。その中で、藤沢耕地には多くの畑もあるので、うまく活用して特産物を作ってみたらどうかという話が出ている。田んぼは男性、畑は女性が中心となっているが、いっしょになってもらえれば、少しは盛り上がってくるのではないかと考えている。

**【竹内（靖）会長】**

法人組織として幅を広げて、いろんな人からそこに社員として、働き口としてもということである。それで、いろんな世代と男女問わずという形である。ただ、法人となっても、年配の人が多いようでは、持続可能ということでは決してなく、その辺もまた今後の課題となるのかと思う。

**【高橋（達）委員】**

農業については何年前にテーマとして挙げたことがあった。まず、法人化を進めるということで現在、西部と北部に法人が立ち上がっている。南部についてはそのような動きがあるかないかは別にして、地域一体での法人化に向けてのステップを踏んでいって、その中からブランド米として直接販売していくような政策も手掛けないといけないだろうと思っている。藤沢の畑を活用した取組については、女性の活躍の場となってくれればと思っている。農業関係以外としては、参考資料の中に「雪に負けない暮らしをアピール」ということで、以前克雪住宅の補助制度があったが、今も続いているか。若い世代にすると落下式の家でないとなかなか借りづらいという話を聞いたことがある。そういう補助制度も検討していく必要もある。

**【竹内（靖）会長】**

村の時代には、高床式や落雪式ということで高額の補助があったと思うが、現在は

どうなっているか後で確認する。

農業の関係も我々地域協議会としてやるべきこととして、まず、担い手という部分を大きなカテゴリーとして考え、その中で農業の推進や後継者の育成などそういうことを少しずつ机上に上げていくことは出来る。ただ、農業は専門的な部分があるため陸川（昇）委員や竹内（昭）委員のように実際に農業をしている人の意見を聞きながら進めていくことが大切だと思っている。

#### 【村越委員】

地域行事で環境整備に参加するが、木の囲いのやり方が全然わからない。

年配の方は綺麗に木の囲いをやっているのを見ると、10年20年すれば、若い人は誰も囲いができなくて、困ってしまうと思ったので、そんなサポートというか研修会みたいなものがあったらいいと思った。

また、農業についても若い人がその法人に入って暮らしていけるような収入は得られないと思うので、先ほど話があったブランド米として売り出すとか、ネット関係を使ったりして、そんな取組も大事だと思った。

#### 【竹内（靖）会長】

環境整備については、町内会や学校関係で行われているが、昔とは違って、今保護者の若い世代の知識不足や経験不足でなくなっている状況にあるので、そんなことも担い手対策として取り組めば解消も図れるものと思っている。

昨日、ある会合でコロナ禍による悪影響の話聞いた。コロナ禍によって2年間祭りなどの行事を中止しているため、来年に祭りを実施した場合に、どれだけの若い人が出てくるのか不安であるとの話であった。全国的な問題でもあるが、やはりこのコロナは痛手となっている。そういった意味でも本日の地域協議会の皆さんの意見の中で一番重要視すべき担い手対策について、これから人口減少に向かっていく中で、1つの大きな枠組みとしてみんなで議論できると感じている。ただ、いろんな分野で視野が広がっていくので、ある程度のカテゴリーに分け、カテゴリー毎に細かく分析しながら話し合いを行えばいいと思っている。

松原委員の公共交通対策については、利用しづらく利用率が下がっているというのは地域に住む人のニーズにあっていないのではないかという課題にもなるので、行政と話をし中郷独自で動けるようなコミュニティバスの運行が出来るかなど、地域協議会の中で話をしながら形付けていければと思っている。

### 【宮川委員】

先ほども話しをしたが、子どもたちを如何に将来の担い手になるよう地元で育てていくかである。何らかを地域的に計画していくことが必要である。

### 【竹内（靖）会長】

事務局案の中にも担い手対策ということで、課題や目指すべき方向性が書かれている。皆さんもご覧いただいていると思うが、住民、企業、それぞれの立場でやれることを模索しながら行うということもあるので、その辺について話を進めていければと思っている。

### 【岡田委員】

担い手対策は、農業や商業など非常に分野が広いと思う。先ほど会長が話されたとおり、闇雲に進むのではなく、細分化して例えば、農業の専門家と意見交換するとか、商工業はなかなか後継者というハードルが高いと思うが、若い人を担い手としてどう活用するのか、そんな方向性がある程度細分化して行っていくのがいいと思う。地域協議会や他の地域団体もそうだが、「若い人が取り組める」「飛び込みやすいか」というところを見直して、あまりにも仰々しく行くと若い人たちはなかなか入りづらいと思うので、敷居を下げて、楽しみながら参加できるようなそんなレクリエーション的な意見交換会などを開催してみてもどうか。

### 【竹内（靖）会長】

それでは、担い手対策について考えていく方向でまとめさせていただく。本日の地域協議会のご意見の中で担い手対策をまず一つの大きな枠として考え、そこから枝分かれして何ができるかというところを話し合い出来るような形でいきたいと思う。本日欠席した陸川（陽）委員、後藤委員、高橋（京）副会長の意見も聞き、次回の話し合いの場に載せていきたい。あくまでも決定ではないが、ある程度たたき台として進めさせていただく。担い手対策となると本当に枠が広がるが、できるだけ次の世代が出やすくなるような場を地域協議会でしっかりと考えて若い人たちに協力できて、協力していただけるような環境整備みたいな形を考えていきたいと思う。高橋（達）委員の克雪の補助金についても事務局より調べていただき、提示していただきたいと思う。

次回は12月末近くになると思う。その時までには担い手に関する部分でもう少し踏み込んだ自分なりの方向性とか目標を考えてきてもらいたい。

特になければ、協議事項(1)の「新たな自主的審議事項」については、これで閉じる

こととする。

続いて、協議事項の(2)4区地域協議会委員合同研修会について事務局の説明を求めらる。

【内田班長】

資料No.2に基づいて説明。

【竹内(靖)会長】

今ほどの説明について質問・意見等を求める。

当初はコロナの影響で開催について議論したが、今のところ幸いにも少し落ち着いているので、今年は12月10日に開催する。板倉区、清里区、牧区についても事例発表をしていただけるということなので、4区の事例を聞きながらディスカッションでできればいいと思っている。

第2部の講演会については、フルサットの平原様からご講演をいただく。出欠について早めに連絡いただき、都合が付かないのは仕方がないができるだけ出席して頂きたいと思っている。

特になければ協議事項(2)の「4区地域協議会委員合同研修会について」は、これで閉じることとする。

事務局他に何かあるか。

【内田班長】

令和4年度上越市新年祝賀会の開催について

農産物販売強化研修会の開催について

上越市学校教育支援センターからの新聞配布について

【竹内(靖)会長】

委員の皆さんから、何かあるか。

【陸川(昇)委員】

藤沢第4の元和田魚店の前の空き家がボロボロで冬になると屋根雪が道路まで出てくる。通学路でもあり、危険なので所有者へ連絡をとってほしい。登校する児童には、帰りは左側通行をなさいと言ってある。去年も雪が道路まで出たことがあり、事務所に連絡し排雪してもらい、バリケート等の安全対策もしてもらった経緯もある。今年も同じ対応をお願いしたいとともに、再度、所有者等に連絡し、家屋の取り壊し等について検討するよう指導をお願いしたい。

## 【竹内（靖）会長】

既に雪の降る時期に来ているので、事前に連絡をしてもらい対応について話をしてもらっておいた方がいいと思う。子どもたちには左側通行と伝えてあっても、通行する車はそういう意識がないので安全というわけではない。その辺も検討する必要がある。

他に発言がないため、これをもって、本日の会議を終了する。

次回の会議は、12月22日(水) 午後6時30分から、「中郷コミュニティプラザ」で行うこととする。

(終了 午後7時30)

## 9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。